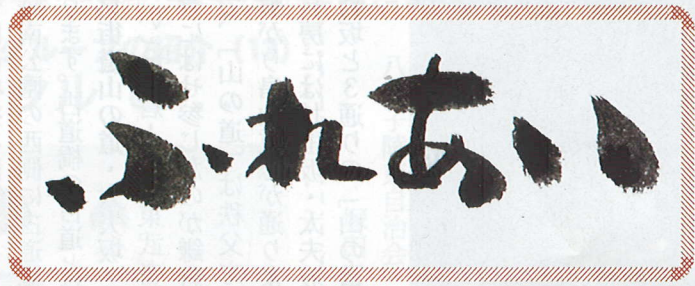


第65号

2022年(令和4年)
7月15日

行 房 地 域 住 民 協 議 会
長 房 王 子 市 長 房 市 民 セ ン タ ー
八 八 王 子 市 長 房 市 民 セ ン タ ー
0 4 2 (6 4) 4 7 7 4
☎ 0 4 2 (6 4) 4 7 7 4
(公 財) 八 王 子 学 園 都 市 団
文 化 ふ れ あ い 財 団



子供会のジャガイモ掘りも再開



ひさしぶりの鯉のぼり

長房話題★あれこれ



フラダンス「ea..」の子どもクラス



「長房周辺散策記」中郷界限



浅川兩岸の早朝ラジオ体操

三年ぶりの鯉のぼり掲揚

長房地域住民協議会会長 松葉浩充

コロナ禍は未だ続いています。2月の理事会で「今年規模を縮小してでも鯉のぼりを掲揚しよう」と決めました。3月には川渡し3本、竹竿10本とし、人が集まりやすい園児のぼりは中止としました。人気の高い出店も取り止めました。

4月11日、体育館フロアを全部使って鯉のぼりの整理選別・組みあわせ作業をしました。37名の参加でした。次は4月16日、いよいよ掲揚です。43名の参加。高所作業車を使ってワイヤーを渡す。いつもより川の水が多く、鯉のぼりの取付けは、声を掛け合いながら行いました。遊歩道の人達も足を止めて見ていました。6m程の大型のぼり旗も2本建てました。

次の日からは幼稚園、保育園の園児達や老人ホームの方々など多くの人達が徒歩やバスなどで見学にいられました。親子連れの方は写真を撮っていました。

途中風の強い日がありからんだり千切れたりし、30日には14人でワイヤーを下して直し対応しました。

読売新聞で紹介され、遠方の方も来場されたり、鯉のぼり寄贈も多くありました。

5月6日は後片付け、39名程で撤収しました。傷んだ物は修理して使います。センター前の南浅川は両岸ともとも歩行者、車、自転車などで、作業時整理員も大変です。30年を超えての鯉のぼりですが無事故で来られたことは皆様のお蔭だと痛感しています。合わせてセンター職員の協力にも感謝でいっぱいです。

次はセンターまつりの開催を祈念しています。



長房 周辺 散策記31

中郷界隈あるき

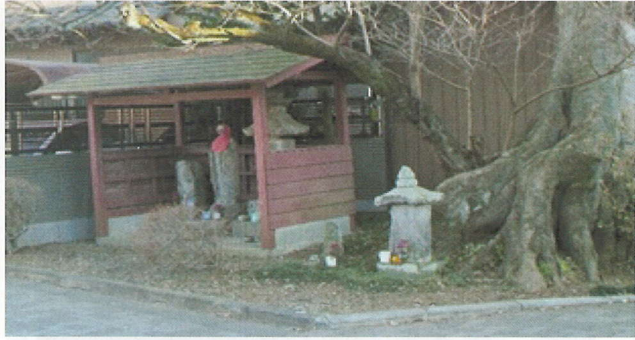
長房町会 伊藤 完

長房丘陵の西方向高尾山寄り
りが上長房、東寄りが下長房、
中間が長房中郷になります。
今回は中郷を散策しましょう。

陵南公園の西側に古道橋があ
ります。古道橋の古道とは「鎌
倉街道山の道・太夫坂」です。
「いざ鎌倉！」坂東武者が鎌
倉にはせ参じたのが鎌倉街道
で、「山の道」は秩父方面に
繋がりが畠山重忠が通りました。
長房には甘里坂・太夫坂・不
動坂と3通りの「山の道」が

あり、天候等その時どきで使
用されませんが、梶原景時所縁
の元八王子梶原八幡神社で一
つに纏まります。

古道橋からはけ(河岸段丘)
を上る坂道があり、その折り
返し場所近くに今はありませ
んが横穴が空いていてそばに
椎の木が茂っていたそうです。
「南面傾斜地に造られた横穴
は上古における墳墓の様式
なのである。御陵参道開設の
際奈良朝以前のもものとみられ
る土器が発見されたので、そ
こを居住址とみなすと近くに
横穴があることは極めて自然
である」と昭和2年内務省地
理編纂の記事がありました。
横穴古墳とも考えられますが
野菜など保管の室かもしれま
せん。



庚申塔

はけを登った角に桜の木を
抱いた太い榎が茂り、そばに
青面金剛と三猿が彫られた古
い庚申塔があります。庚申塔
は古街道が通っていた証にな
ります。
御陵正門の前を過ぎて突き
当たりを右に曲がりフェンス
角の内側に坂道の名残があり

ます。これが庵の山入り口で、
登ると鈴木正三(石平道人)
と弟子の恵中が修行生活を過
ごした堅叔庵があった所です。
鈴木正三は天正7年(1579)
に生まれ徳川家康・秀忠に仕
えた旗本でした。その後出家
して禅の僧侶となり哲学者で
もありました。寛永14年
(1637)の天草島原の乱がお
きた後、弟の天草代官重成を
助け復旧に当たりました。特
に切支丹弾圧を避けるための
仏教へ改宗を勧めました。晩
年堅叔庵に住み、明暦元年
(1655)弟の重之の館で77歳
の生涯を閉じました。そして
東に歩くと日光神社、中郷町
会館(宝蔵寺跡)があります。
これらも鈴木正三の所縁の場
所です。日光神社は家康を祀
り、また宝蔵寺は正三のお宝
を保管した高尾山薬王院の末
寺だったそうです。
さらに東に進むと東照寺と
長泉寺が並んでいます。(こ
の記事はふれあい49号散策記
15で記載)また、中郷の東側
の「中郷遺跡」「丸山」「下長
房尋常小学校校跡地」「幼年学
校西門」などご案内したいの
ですが、以前ふれあい散策記
の記事にしましたので、ここ
までとします。

これまで鯉のぼりを 支え続けた影の功労者を紹介

平田征哉さん(長房町会)

全ての作業に精通してお
り、わからない時は平田さ
んに聞くと作業が進みます。
実務の作業手順、各計画
図面、現場のことなど、と
ても書ききれません。

広岡弘之さん、永井光男さ
ん(西団地)

鯉のぼりの川渡し3本の
河原は、大きく伸びた芦な
どがいっぱい、5時間程か
けてきれいに刈りました。
壊れていた鯉のぼり40匹を
丁寧に修理しました



古見吉男、梶原正男さん
(長房台)

しばらく使ってなかつ
た竹竿を選別し、虫食
いや割れたものを切断して
軽トラ荷台でんこ盛りで
戸吹に運びました。

(松葉)



市民センター利用グループの紹介 (13) フラサークル ea..



フラはハート(心)で踊る踊りです。

年齢を重ねるほど人生経験が心を磨き、美しく踊ることができる、と言われていています。『自分のハートを大切に、自分らしく幸せに踊る』フラサークルです。

3才から60代まで、日常の中に花を咲かせて踊っています。

大人クラス 毎週火、木、土、日曜日 9時~10時 (月2回 9時~11時のクラスあり)

子供クラス 毎週木曜日 16時30分~17時50分

連絡先 更科純恵 akahai.sumi0507@gmail.com

縁の下の力持ち

鯉のぼりを今回見て楽しむ側から準備する側になった。気軽な気持ちで参加したが、仕分け・川渡し・撤収を三日かけて行った。

その過程ではたくさん工夫と努力があり、驚きの連続だった。祭りが再開すればこれ以外にもたくさん作業があるのだろう。

来年はこの体験を思い出し、感謝の気持ちで楽しむことになるだろう。

八王子陵東自治会

塚田あけみ

都営団地の空き地

「みんなの広場」(仮称)実現に動き出す

都営長房団地の交番北側の空き地が、草ぼうぼうの状態



で、長い間放置されたままだったので、「住民の交流の広場に使用できないか」と、西

団地・西アパート・南アパート・東アパートの4自治会代表と都営長房アパート連絡会で話し合い、東京都への要請を続けてきました。

その運動が前進し、このほど東京都から「同場所約10000平方メートル(約3300坪)の整地と、住民のための安全な広場として整備する」旨の嬉しい回答があり



横山さん(左)と山田さん

「誰もやらなかった東岸で4年前に珍しく体操する人を見つけて、うちの仲間がス

東横山橋と、最近架け替えられた睦橋とのちようど真ん中あたりの両岸で、毎朝(6時30分)ラジオ体操をする人たちがいます。東岸は桑志高校脇の浅川ゆったりロード周辺で、西岸は市営長房団地の防災倉庫周辺です。

南浅川両岸の、早朝ラジオ体操模様

さらに都営の4自治会等と協議を進め、防災と交流の場として生まれ変わる方向で、新たな地域の拠点となりそうです。現在、仮称「みんなの広



東岸の浅川ゆったりロード

場」として東京都との協力を進め、今後の住民運動発展を誓い合いました。

長房西アパート連合自治会

西山典明

ピーカーを向けたら、以後東岸で始める人がどんどん増えてきたんです」
特に夏休み中は大勢集まり、その様子は壮観だったという。山田恵司さんは東岸エリア住まいで、近くなつたはずだが、橋を渡って以前と同じ西岸に通い、先輩からラジオ、スピーカー操作を引継いだ横山さんを手伝っている。

おふたりもお元気で、長く続けてください。

船田町会 平田哲男

市民センター利用グループの紹介 (14) **SAYOKO ヨガ**



ここではストレッチボールに乗って背骨の矯正をして、ポールで筋膜リリースをしてからヨガをしています。筋トレもしています。

アーサナ（ポーズ）を行うことで実感しやすい変化は ①体温上昇、②呼吸の変化、③姿勢の変化 ④心の静けさです。

QOL（生活の質）の向上にもつながります。痛みの改善にもなります。

20代から80代まで幅広い方々が参加されています。皆様元気で若々しいです。お友達も増えます。一緒にヨガしませんか？

長房市民センター 毎週金曜日 13時～15時半、その他 中野・子安・横山南等6か所毎日色々な時間、場所で開催しています。

老若男女問いません。男性もふえています。まずはお問い合わせください。見学、体験もOKです。

連絡先 小柴佐代子 (080-3466-6397)
(RYT200・ヨガ1級・体育館インストラクター)



万葉公園の歌碑の前で



クリスマスパーティーや餅つき大会など例年の催しがほとんど中止されていた船田町

いろいろな行事、催しを早く再開して 普通の日常生活を取り戻そう

会の子ども会で、6月12日、3年ぶりのジャガイモ掘りが開催されました。この日は80名の児童が参加しました。「赤いジャガイモを掘り当てたら賞品がもらえる」などのゲームも始まり、畑に子供たちの声が響きます。このところ、子供に限らずグラウンドゴルフや、カラオケなども次々と解禁が続いています。そろそろ「コロナ明け」が近いのでしょうか。

船田町会 平田哲男

正しい 鯉のぼりの数え方

本誌では単純に、鯉は魚だから「匹」とわりきっています。が、(2ページ)調べてみるといろいろあります。吹き流しも含めて、はたらく様子を数える場合は「本」いや、旗やのぼりを数える「旒」(りゅう)が正しいという人も。また、「流」と書いて「ながれ」と数えるという人もいます。日本語はむづかしい。もつと分かりやすく「尾」とか「枚」はいかがでしょうか？

●長房ふれあいウオークへのお誘い

第9回目になります。「長房周辺散策記」読者の方々をお誘いして旧下長房地域をご案内して歩きます。市では「活力ある魅力あふれるまち」の実現に取り組み、モデル地区として「長房中学校区地域づくり」が進められています。歩きやすい服装でご参加ください。体温測定等コロナ禍の配慮もお願いします。
○日時 2022年9月10日(土) 9時から12時(雨天予備日17日)
○予約不要自由参加(参加費無料)資料をお渡しします。
○長房住民協議会の活動としてふれあい編集委員の伊藤(090-2738-3422)がご案内を担当します。

三年ぶりの ふれあいウオーク

長房ふれあいウオークが2月19日(土)に行われました。散田町を「高宰神社」「真覚寺」「万葉公園」「黒木開戸緑地」と巡りました。南北朝時代後村上天皇の子、室町時代の伝説等、謎の多い地域です。黒木開戸緑地は整理されて周りを見渡せる独立した丘になっています。2年間休みましたが、約30人の皆さまが参加されました。

長房町会 伊藤 完